

## TWO HEART

# ツートゥーハート

2020/9/30  
第54号



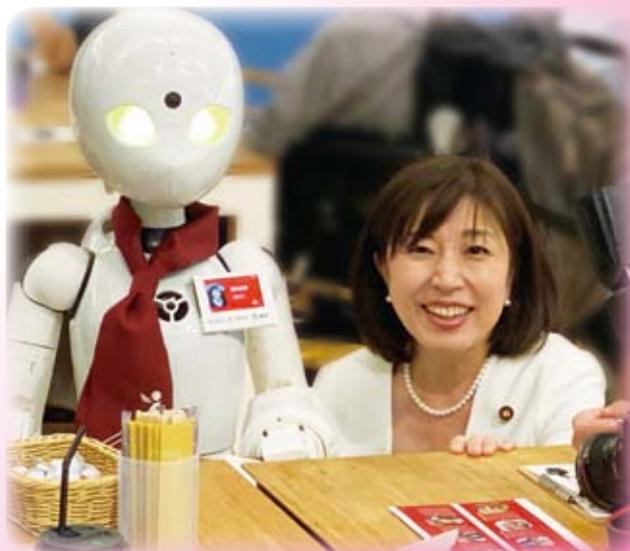
衆議院議員 あべ 俊子



参議院議員 たかがい 恵美子



参議院議員 石田 まさひろ



衆議院議員 木村 やよい

## INDEX

### 看護職代表国会議員

- 島根県看護連盟会長挨拶 ..... 2
- 現場の声活用委員会報告 ..... 5
- 新型コロナウイルス感染症に対する看護職員への支援要望 ..... 2
- 医療現場の新型ウイルス感染予防対策... 6
- 看護職代表国会議員活動報告... 3～4
- 県議会議員の看護体験報告 ..... 7
- 島根県看護連盟会員入会案内 ..... 3
- #ありがとうにありがとう ..... 8
- 松江市議会議員米田ときこ活動報告... 4
- お知らせコーナー ..... 8
- 新任役員・支部長 紹介 ..... 5
- 広告・編集後記 ..... 8



島根県看護連盟  
ホームページ

## ごあいさつ



島根県看護連盟 会長 川合 政 恵

コロナ禍で心身が憂う中、今夏は熱中症警戒アラートが発表されるなど猛暑に見舞われました。そのような状況下、医療現場では感染リスクと背中合わせの中、懸命に困難に立ち向かう看護職の奮闘ぶりが、人々から看護への信頼を集めメールが送られています。

会員の皆様には、日頃より連盟活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございます。今年度も早6カ月が経過、例年のように事業計画を進められないことに、些か心配もいたしますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況をみながら、可能な方法をとって事業の継続を目指し活動しています。

さて、今年度通常総会は新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、会員の皆様には書面決議でのご参加、ご意見をいただき誠にありがとうございました。新役員を迎えて新体制での今年度事業をスタートいたしました。

本年は、次期第26回参議院議員選挙に向け組織基盤の強化を図る年です。連盟活動の役割は、第一義的に看護の代表議員を政策決定の場に送ることであり、そのための集票力のある組織をつくることです。現在のところ2,490名の方に入会いただいています。会員数は「組織を動かす力」「看護職の政策課題を実現する力」になります。連盟組織の拡充、パワーアップに向け一層のご理解とご協力をお願いいたします。

看護職には、人々の健康と福祉の向上を目指して、看護政策を実現することのできる政治力をもつことが求められます。人々の全ての営みや、それを支える看護の仕事は政治と繋がっているということへの認識を深めていただけるよう、事業を継続してまいりたいと思います。会員の皆様の積極的な参加を今後ともよろしくお願いいたします。

看護職代表の国会議員の方々は、国政の場で医療現場の声に立脚した感染症対策を国が責任をもって進め、予算措置を講ずるようにと奔走されていますことをご報告します。

コロナ禍での生活スタイルも変化し、今後も暫くは大変な日々が続くことと思われませんが、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

### 看護職員への支援要望

## 新型コロナウイルス感染症に対する看護職員への支援要望

4月に県議会、5月には県選出国會議員 web 会議において、国が講じる新型コロナウイルス感染症対応交付金による看護職員への支援について、予算が確保されるよう要望しました。要望について島根県は次の事業を実施することを決定しています。(詳しくは島根県HP「医療機関等への各種支援事業」をご覧ください)



- \* 新型コロナウイルス感染の患者又はその疑いのある者の診察、看護、検体検査等の業務に従事した職員に特殊勤務手当を支給する。
- \* 新型コロナウイルス感染症患者の対応のため業務が深夜に及んだ場合、基礎疾患を有する家族等と同居しており帰宅することが困難である場合、その他知事が必要と認めた場合に、宿泊した際に要する経費を補助する。
- \* 医療提供体制の維持のため、新型コロナウイルス感染症入院患者に対応している医療従事者（医師、看護師等）や、分娩前の妊婦を対象に、公費によるPCR検査を実施する。

要望事項以外に、感染防護具の不足、コロナ対応で通常よりも多くの人手がとられ一段と厳しい労働環境、危機管理に当たる感染管理認定看護師の不足等、医療現場の声を伝え対策の必要性を併せて申し入れました。

## 看護職代表国会議員活動報告



### ◆衆議院議員 あべ 俊子

一般の新型コロナウイルス感染症対策への皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症へは長期的な対応が必要となって参りました。『新しい日常』との共存が求められる中、先日発足した菅内閣のもと、新型コロナウイルス対策を更に強靱に進めていく所存です。これからも、看護職の皆さまには、現場や生活全般において大変なご苦労・ご負担をおかけすることになりますが、看護職支援の充実に、更に努めて参ります。

国会では、来年度予算の編成が進んでおります。医療従事者の皆さまのご努力、そして、国民全体の衛生行動に対する高い意識のおかげで、新たな感染者数は減少傾向に転じました。ウィズコロナの時代、適切なウイルス対策を実施しながら、日々の活動を取り戻すための政策を進めて参ります。

閉会後は地元の岡山をまわり、皆さまからご意見頂く毎日です。大都市と地方では、新型コロナウイルス感染症対応に求められる支援も異なるものです。保育園、学校、学童保育などへの支援策も充実させて参ります。地元の皆さまの代議士として、地方を守る政策立案に努力する所存です。

平穏な日々が戻りますよう、国政にて精一杯活動して参ります。引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願いたします。



### ◆参議院議員 たかがい 恵美子

深秋の候、島根県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

平素より、国民福祉を向上する看護政策の推進にご尽力賜り誠にありがとうございます。また現下の新型コロナウイルス感染症対策のため、家庭・地域・学校・職場などあらゆる場面で行動の制約があるなかで、いのちの最前線に立って尊い看護の使命を果たしておられる皆様とご家族に深く敬意を表し、心から感謝申し上げます。

私はこの一年、文部科学部会長として学校教育・研究開発・科学技術やスポーツ・文化・芸術・宗教等の政策立案に携わっています。同時に、一月に設置された新型コロナウイルス関連肺炎対策本部メンバーとして、政府と緊密に連携しながら機動性の高い感染症有事対策を展開してまいりました。我が国の令和二年度国家予算は102兆6千億円強ですが、加えて感染拡大防止のためこれまでに事業費ベース230兆円規模の緊急経済対策を措置しています。今後は、医療福祉従事者のさらなる安全な就業環境を実現し、技術に見合う報酬の上乗せや専門人材の育成・広域調整機能の強化につとめます。人々の移動に伴う安全確保も重要な課題で、必要な検査機会を提供できる体制の整備を急いでいます。医療関係職種等の学校養成所では、学生等の修学に不利益が生じることのないよう実習振替等の救済措置を推進しておりますが、就職後の現任研修についても手厚い措置を講じることができるよう検討を進めています。

多くの専門職は厳しい局面の中にあっても、周囲の信頼と支えを励みに自らを鼓舞し最前線に立っています。私は先頃誕生した重厚な危機管理内閣と緊密に連携し、政治の場からこうした国民福祉の担い手を大切な社会の宝物として守り、盤石な対策で支援していく覚悟です。

## 看護連盟会員 募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正会員	年会費 9,000 円	日本看護連盟会費 5,000 円、県連盟会費 4,000 円
特別会員	年会費 9,000 円	正会員の経験を有し未就業で看護協会会員でない方
賛助会員	年会費 1,000 円	看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます
学生会員	年会費 無 料	就学している看護学生の方

お問い合わせ 事務局 TEL (0852) 27-6361 FAX (0852) 27-6417 E-mail : shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp



### ◆参議院議員 石田 まさひろ

島根県看護連盟の皆様、日頃よりご支援を賜りありがとうございます。

先般、約7年半振りに新総理が就任し、国会では組閣をはじめ、新たな職務が任命され始めています。私は、参議院自民党の国会対策委員会副委員長を担うことになりました。2017・2018年に同職を務めておりましたので、今回が3度目の就任となります。国会の円滑な運営のため様々な調整を行う職務であり、些細なことが大きな影響を及ぼすこともある緊張感の高い仕事です。気持ちを引き締めて活動を行っていきたいと思います。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症が長期化し、新たな生活様式での暮らしが続く中、職場や日常においても負担と制約の大きい日々を過ごされていることと思います。

先の閣議決定では、令和2年度の予備費から1兆6千億円余りが新型コロナウイルス対策費として決定しました。具体的には、患者を受け入れる医療機関の安定的な経営を図るための緊急包括支援交付金の増額、特定機能病院など対応に係る診療報酬の引き上げ、救急・周産期・小児医療機関への支援、PCR検査キットを医療機関が整備するための補助、ワクチンを購入するために必要な拠出金などです。

これらを現場で活用していただき、少しでも負担軽減になればと思います。

医療や介護の現場で働く皆様が安全な環境で働くことができるよう、全力で取り組むことはもちろん、国民の皆様が安心して生活を送るための活動を続けてまいりますので、引き続きよろしくごお願い申し上げます。

### ◆衆議院議員 木村 弥生

島根県看護連盟の皆さま、こんにちは。

先日自民党総裁選が行われ、菅義偉新総裁が誕生しました。

コロナを機に、便利になったと実感できる日本へ。感染症対策、拡大防止と経済活動の両立を進め、戦後最大の国難を乗り越えていかねばなりません。

私は、これからの日本に必要なキーワードは、多様性、包摂性、公平性、持続可能性だと思っています。積み残した課題を解決するべく汗をかいてまいります。

菅内閣発足に伴い、私の総務大臣政務官も後任へとバトンタッチしました。

私は、主に情報通信、郵便行政、放送行政、郵政民営化を担わせていただきました。厚生労働行政だけでなく、総務行政という大きな引き出しが加わったことで、これまでの活動や政策に、より深みと奥行きが増した。そんな思いがいたします。

特に情報通信分野の発展は「ドラえもんの世界が現実に近づきつつある」と実感できるものでした。5GやAI(人工知能)は、人口減少社会の日本で、医療・介護・教育・行政・農業・観光・交通・防災など各分野での人材不足・財源不足をカバーし得るものです。高齢者や障がいのある方たち、情報弱者といわれる方々にきちんと届き、活用できるようサポートをしていくことが大切です。

コロナの収束もまだ不透明の中、経済をどう立て直していくか、雇用を守るのか。

看護師・保健師出身の国会議員として、医療崩壊をくい止め、保健所の体制整備に努め、皆さまの健康を守りぬけるようがんばります。



## 松江市議会議員 米田ときこ議員活動報告

### 看護職として市議会議員の役割を果たすために

看護師、保健師の経験を活かし、女性目線で松江市をより住みやすい、働きやすいまちにしたいと立候補を決意し、平成29年4月に初当選させていただき、早や4年目となります。常任委員会の教育民生委員会副委員長を2年、同委員長を現在まで務めています。

これも看護連盟、多くの看護職のご支援ご指導があったことと感謝申します。看護職が働きやすい環境のために、保育所の入所枠拡大や産後ケア事業の実施、不妊治療の拡充などに尽力してきました。またこの度のコロナ禍においては、看護職の皆様のご活躍に感謝し、市民が安心して医療を利用できるよう看護職国会議員との情報交換や意見交換を行い連携し、松江市看護職員への特殊勤務手当の支給や衛生材料の支給、誹謗中傷への対応などを執行部に訴え続けた結果、それぞれが支給・配布等に繋がりました。皆様の声や助言等頂きながら、今後も市民が生活しやすい、住みやすいそして働きやすいまちづくりに頑張りたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## \* 2020年度 新任役員&新任支部長 紹介 \*

### 新役員あいさつ



幹事  
木村 留美子

今年度、島根県看護連盟幹事を拝命しました。

ナイチンゲール生誕200年「看護の力で健康な社会を」キャンペーン中に新型コロナウイルスの出現でいっそう看護師の存在に注目が集まっています。

看護職が医療機関、地域の中で優先的に取り組んでいくべきことを島根県看護連盟の役員として、皆さんと共に考えて行こうと思っていますのでよろしくお願いします。

私は病院勤務の後、大田市で「行政・看護師・住民が一体となり、地元でその人らしく暮らせるお手伝い」と称して「わたしの町の看護師さん」事業に取り組んでいます。

### 新支部長あいさつ



松江第一支部長  
松江赤十字病院  
角 紀子

今年度より星野支部長に代わり松江第一支部長を拝命しました。

新型コロナウイルスの感染症対策をきっかけに連盟活動はもちろん、私たちの生活も大きく変わろうとしています。支部長に就任後、活動計画をもとに実施したいと思っても様々な制限があり、計画通りには進んでいません。新しいことにチャレンジすることは得意ではありませんが、現場の声を届ける、看護職の代表を応援し続けるという看護連盟活動を、このような状況の中でどのように継続していくのかを考え、活動していきたいと思います。

どうぞ、宜しくお願い致します。

## 現場の声活用委員会 報告

委員会担当幹事 淀江 君 恵



現場の問題や課題の改善を図ることを目的に委員会が発足し、昨年度より年3回の計画で開催しています。委員である看護管理者5名が、初回の委員会で現場の諸問題について意見交換した結果、まずは特定行為研修者の育成に関わる問題について取り組むことになりました。

島根県としても特定行為研修修了者100名を目標に制度を推進されている中で、現場では実習指定研修機関や演習実習施設との連携体制、研修生の環境調整、所属施設の支援や協力、指導医師の理解等、多くの問題があり改善を図る必要がありました。そこで、県担当者から研修の進捗状況や今後の方向性の説明を受けたり、研修生の所属施設や受け入れ施設での課題について意見交換をしました。また研修修了者からは受講にあたって困ったことや研修後の活動について話を聞き、課題の整理行っています。在宅分野で制度推進のためにはネットワーク作りも重要であり、新たに訪問看護ステーションの方にも委員になってもらうことになりました。

今後は、特定行為研修制度の理解促進や研修機関や実習施設との連携等の問題改善が図れるよう、県行政担当者や県看護協会とも連携して活動を進めていきたいと考えています。

また、コロナ禍で現場の状況報告や地方行政で取り組んで欲しい看護問題の改善要望についても意見を出しました。

「With コロナの生活」の不安や戸惑い、人口減少や医師不足等で地域医療環境が変化しています。医療職の皆様が最前線で安全安心に働きやすい職場となるよう、看護の諸問題を、県や国に申し入れし改善・解決へと働きかけができるよう委員会で進める予定です。皆様からも率直なご意見をお寄せください。

## 医療現場の新型コロナウイルス感染予防対策

### OBボランティアによる問診協力に感謝

益田赤十字病院 看護部長 石川 由美子



2020年4月、県内1人目の新型コロナウイルス感染者が確認されました。当院においては、感染予防対策として、5月の大型連休後より一般外来での診察前問診を開始しました。開始した当初は、問診業務に慣れていないこともあり、各外来前が3密状態となり、問診場所の変更、それによる新たな人員確保が必要となりました。

そこで、退職された方に声をかけたところ、4名の元看護部長や元看護師長等の方々がボランティアとして参加して下さることになり、懐かしい顔ぶれの方々による診察前問診が開始となりました。患者様への丁寧な対応はもちろんのこと、何より生き生きと仕事をされている姿はとても心強く、私たちスタッフもどんなにか励まされたことが…。

6月末、1ヶ月に及ぶボランティアに感謝し、院長より感謝状の贈呈が行われました。ボランティアにご協力を頂き、職員一同感謝しています。



### 訪問看護ステーションでの感染予防対策

島根県看護協会 訪問看護ステーションそよかぜの丘 所長 中川 理恵

新型コロナウイルス感染症が、医療資源の少ない県西部で感染拡大した場合、医療・介護の崩壊が生じてしまうという危機感を常に感じています。そのため、当事業所では、当初から様々な感染予防対策を行ってきました。

まず、保健所の指導に従って、圏域のステーションで感染予防対策や発生時の対応について話し合いを行いました。その中で、有事に備え、各ステーションの利用者を3段階（A 従来通りの頻度で訪問するべき利用者、B 訪問間隔を調整できる利用者、C 訪問を休止できる可能性のある利用者）に区分し、情報提供がスムーズに出来るように、事前準備しておくこととしました。

また、県看護協会立のステーション間においては、各圏域の情報を交換し、感染予防対策マニュアルの見直しを行いました。加えて、利用者様やご家族に対して、文書を配布し、感染予防対策に対する周知及びご理解とご協力をお願いしました。

緊急事態宣言の解除後は、感染拡大地域への移動や帰省等も増えています。移動の制限がなくなったとはいえ、感染のリスクが少なくなったわけではありません。

当事業所の現状での対策は、県内・外の感染流行地域への行き来があったご家庭への訪問については、1件訪問毎、事務所に戻り、更衣、カバンも含めた使用物品の消毒、車内の消毒をして、次の訪問に向かうという対策をとっています。そのため、一人の看護師が半日で1件しか訪問できないような場合もあります。職員についても、県内・外の感染流行地域へ移動した場合は、1週間程度は体調観察のため、訪問を控えています。このような対応の中、利用者の受け入れを一時的に制限しなければならない状況も生じています。

さらに、酷暑の中、常時マスク着用という状況で、職員の熱中症のリスクも高くなっており、入浴介助時はマスクではなくマウスシールドを使用するなど、熱中症予防も併せた感染予防対策が必要となっています。

私たち訪問看護ステーションの職員は「感染しない」「感染させない」ということを常に意識し、業務中のみでなく、日常生活の中でも常に緊張感をもって生活を続けています。

感染拡大が長期化する中、酷暑も影響し、職員の身体的・精神的疲労も限界となりつつあります。地域での感染拡大を防止し、ご利用者様やそのご家族、そして職員が安心して過ごせる日常が一日でも早く戻ることを願っています。



## 県議会議員の看護体験報告



2025年を目前に医療・介護提供体制の改革が進められる中、看護職がより一層活躍するためには、看護職の力が適切に評価され、地域における保険医療政策に影響を及ぼしていくことが重要になります。ナースিংガール生誕200年に当たる本年、Nursing Now キャンペーン事業として「地方議員の看護体験」を初めて行い、6名の県議会議員の方々にご参加・ご協力をいただきました。医療現場の現状や課題についてご理解いただけ、充実した意見交換の機会となりました。



### 島根県看護協会訪問看護アドバイザー 安田 和子

8月20日に島根県看護協会訪問看護ステーションいずもに於いて、日本看護連盟の「NusingNow キャンペーン」の取り組みの一環として「地方議員の看護体験」に島根県議会議員 森山健一氏、多々納剛人氏、原拓也氏、吉田雅紀氏の4名をお迎えしました。

訪問看護ステーションいずもの福場所長から島根県内の訪問看護と訪問看護ステーションいずもの現状について説明しました。

新型コロナウイルス禍であり訪問での看護体験は中止しましたが、「もっともっとしまね」2014年12月25日TSKさんいん中央テレビでの放送「在宅を支える訪問看護師」のDVDを視聴して頂き、訪問看護を身近に感じて頂いたように思います。

議員さんからは地域住民が安心して生活できるための地域包括ケアシステムについての質問が多くありました。地域包括ケアはまだまだ充分とは言えませんが一人ひとりを支える医療・介護・福祉のケアチームは徐々に充実して来ており、訪問看護師はチームの資質向上のために専門職として努力していることを説明しました。地域包括ケアを充実させるために医療情報の共有手段として「まめネット」の活用が県内で充実できるよう活発な意見交換ができました。

最後に ①新型コロナ感染対策、②地域包括ケアにおける看護提供体制（訪問看護支援センター等）、③看護職の役割拡大（特定行為研修）、④働き方改革等、現状と課題について報告し今後のご支援をお願いしました。

今回の取り組みにおいて、島根県議会議員さん方に訪問看護の現状と課題について理解を深めて頂く機会となりましたことに感謝致します。



### 島根県済生会江津総合病院 西藤 美恵

8月26日、県議会議員 大屋俊弘氏、坪内涼二氏に来院いただき、済生会江津総合病院の取り組みについて意見交換をする機会をいただきました。

島根県西部は人的資源の乏しい地域です。人口減少が加速度的に進み、患者数の減少のみならず、働き手の確保も深刻な状況になっています。地域の医療を継続させるためには病院単体での努力に限りががあります。圏域内の病院間連携や開業医連携、行政や市民との連携をどう進めているか、課題は何かといった点を熱心にお聴きいただきました。

また、人材確保や人材育成の取り組みでは、看護職の役割拡大が進むなか、島根県特に西部における看護師養成機関の重要性と認定看護師や特定行為研修修了者の活用について意見を述べました。



両議員にはここで交わした意見の数々に深い理解と納得を示していただき、支援の言葉を頂戴することができました。看護の力なくしては健康な街づくりはできないという思いが伝わったのではないかと感じています。

新型コロナウイルス感染症対策として発熱外来も見学していただき、防護服の着脱体験でたくさんの汗をかいていただきました。議員から「1人で着るの?」「暑いね。息苦しいね」などの感想がありました。



## #ありがとうございます



新型コロナウイルス感染症の最前線の現場で働く医療関係者に対して、多くの励ましや感謝の気持ちが寄せられました。医療者に向けて拍手を送る取り組みや建造物の青いライトアップ、自衛隊のブルーインパルス飛行など、ニュース等で見られた方も多いと思います。

日本看護連盟青年部の発案で、世間からの支援と応援に対する感謝の思いと、すべての医療・保険・介護の分野で働く人々に向けてメッセージを贈りたいと「#ありがとうございます」の動画を作成されました。全国の連盟会員からのメッセージを日本看護連盟のホームページやYouTubeにアップされました。拡散されたFacebookやTwitterで見下された方もあると思います。

島根県看護連盟も広報委員会が中心になってホームページトップ画面に「#ありがとうございます」を載せました。

写真提供：出雲市立総合医療センター



## Information to Heart 【研修・行事予定】

月	日	曜日	行事	内容	講師 他	場所
10	3	土	第12回 ポリナビワーク ショップ in 島根	・プレゼンテーションの資料作成と発表のコツ ・看護連盟って何？	青年部	パルメイト出雲
10	17	土	全国青年部代表者会議	全国青年部の代表者との情報交換		オンライン会議
10	31	土	中国・四国ブロック 看護管理者・教育者看護政策セミナー	・「なぜ、看護政策の実現が必要か」 ・「日本看護協会の重要政策について」 ・「少子高齢・デジタル時代の保険医療」 ・「医療政策の課題と展望」	大島 敏子 先生 勝又 浜子 先生 塩崎 恭久 先生 島崎 謙治 先生	オンライン研修
11	25	水	第2回 青年部ブロック会議	青年部活動のあり方を検討		オンライン会議
11	29	日	看護管理者・看護教育者研修	コロナ禍での医療政策について	石田 まさひろ 先生	看護研修センター
11	30	月	日本看護連盟 通常総会			東京プリンスホテル
12	19	土	リーダー研修	青年部担当幹事が考える看護連盟活動の未来(仮)	日本看護連盟 青年部担当幹事 前田 和哉 先生	ニューウエルシティ出雲



石田 先生



前田 先生

### 睡眠セミナー

### 無料サービスのご案内

東洋羽毛

### 良質睡眠でキラキラ輝く私に！

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

#### 睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠るためのヒント 睡眠6カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

**TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社**

島根営業所 ☎ 0120 - 996104 〒690-0055 島根県松江市津田町316-2



## 編集後記

新型コロナウイルスの収束が見通せない中で「With コロナ」「新しい生活様式」は、私たちの価値観や生活のあり方に変革が必要になりました。

看護連盟も集合を避け、オンライン会議や研修を始めました。しかし、直接対面や集合することでしか得られないものもあります。

感染状況を見ながら看護連盟事業を進めていきますので、引き続きご協力をお願い致します。

広報委員一同